



大分市全国1位守る

鶏肉購入量

1世帯年間20・754キロ



スーパーの陳列棚にずらりと並んだ鶏肉。「今日はどんな料理にしようかな」=4月27日、大分市のトキハインダストリー南大分店、撮影・江藤成吾

大分県民はやっばり鶏肉が大好き。総務省が公表した最新の家計調査で、大分市の1世帯当たり購入量が全国1位だった。2012年以来7年ぶりのトップに返り咲いた昨年に続いて2年連続。牛肉や豚肉より低脂肪で価格も安い食材は、家庭でソウルフードの鶏天や唐揚げをはじめ、さまざまな料理になって愛され続けている。

ランキングは全国の都道府県庁所在地と政令指定都市が対象。1世帯当たり(2人以上)の過去3年間の平均値を比較している。鶏肉はスーパーや精肉店で購入した調理前の生鮮肉で、総菜などの持ち帰りや外食は含まない。3月に出た17、19年の集計結果によると、大分市は年間購入量が20・754

キロ。全国平均(16・697)を大きく上回り、2位の熊本市より0・027キロ多かった。購入金額(1万9115円)は福岡、大津両市に次ぐ3位だった。大分県民はどんな鶏料理を囲んでいるのだろうか。トキハインダストリー南大分店(大分市田中町)の精肉コーナーには20種類ほどの鶏肉が並ぶ。モモ肉を手にとった近くの主婦(60)は「鶏天や唐揚げは家族みんなが喜ぶ鉄板メニュー。低価格で健康的だし、主婦の強い味方」。胸肉を購入した同市上宗方の無職女性(79)は「孫のためにバンパシシーを作る。煮物や鶏飯など他の肉より私のレパートリーは多いんですよ」と話す。

同店の売れ筋はモモ肉の切り身。唐揚げや炒め物、鍋など一年を通じて購入客は多いという。県内のトキハインダストリー計23店の精肉バイヤー甲斐崎崇さん(41)は「県内で流通するほとんどが大分と(生産量日本一の)宮崎産。鮮度が高くておいしい鶏肉が手頃に手に入ることが、大分に鶏料理が根付いた背景にあるかも」と分析する。

新型コロナウイルスの感染拡大で外出自粛が続く中、これまで以上に自宅で鶏料理を食べている人も多いのでは? (安里葉冬)

×
モ

家計調査の全国ランキングで、大分市は他に乾シイタケ(金額と購入量)、アサリ(購入量)が1位、外食の焼き肉(金額)が3位、アジとイワシ(金額)が4位だった。

2020年5月11日付大分合同新聞1面

総務省が公表した最新の
家計調査で、大分市の1世帯
当たりの鶏肉購入量が
全国1位でした。

①大分市の1世帯当たり(2人以上)の鶏肉購入量は、全国平均よりどれくらい多い?

.....キログラム/年

.....% (小数点以下四捨五入)

②今回の家計調査で分かったことはA~Cのどれ?

- A. 大分市民が鶏肉の生精肉を買う量は、世帯当たりで全国1位だった。
- B. 大分市民がスーパーなどで鶏肉を購入する金額は全国1位だった。
- C. 大分市の1世帯当たり鶏肉消費量は昨年に続いて全国1位だった。

.....

③取材に応じたスーパーの精肉バイヤーは、大分に鶏料理が根付いた理由をどう分析していますか?

.....

.....

④どんな種類の鶏肉料理がありますか? その中で何が好きですか? 話し合ってみましょう。

.....

.....